

リンゴ病害虫の発生状況（9月上旬）

（1）斑点落葉病

新梢葉での発生ほ場割合は、平年よりやや高い状況でした（図1）。

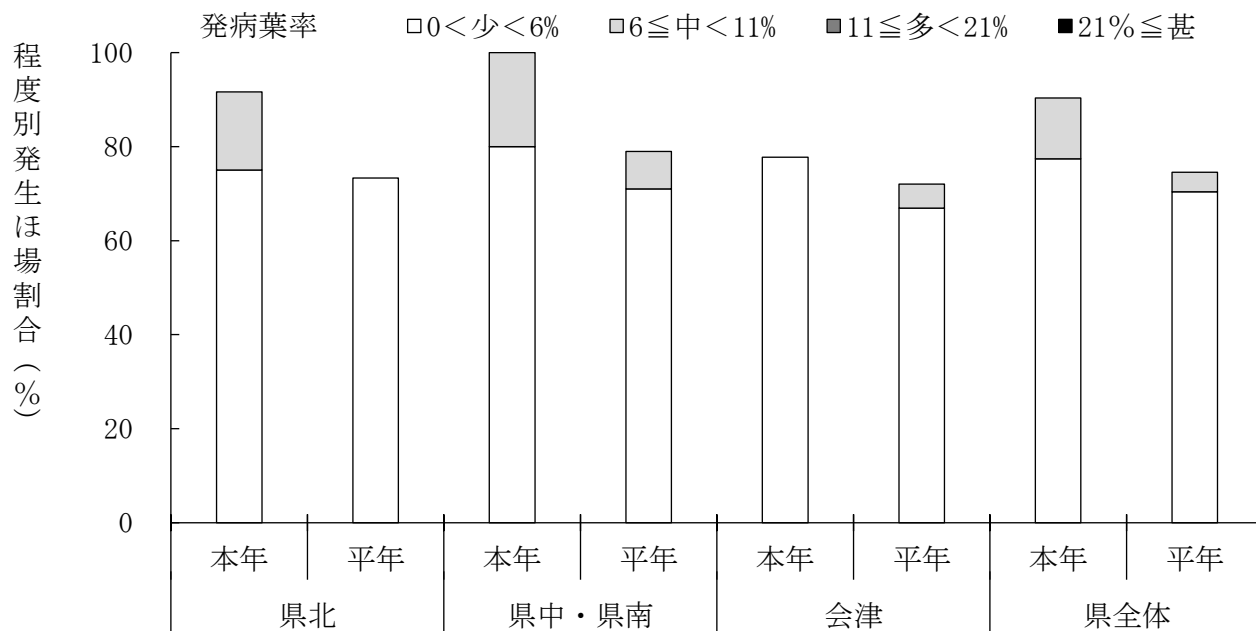


図1 斑点落葉病の発生状況

（2）褐斑病

新梢葉での発生ほ場割合は、平年よりやや高い状況でした（図2）。

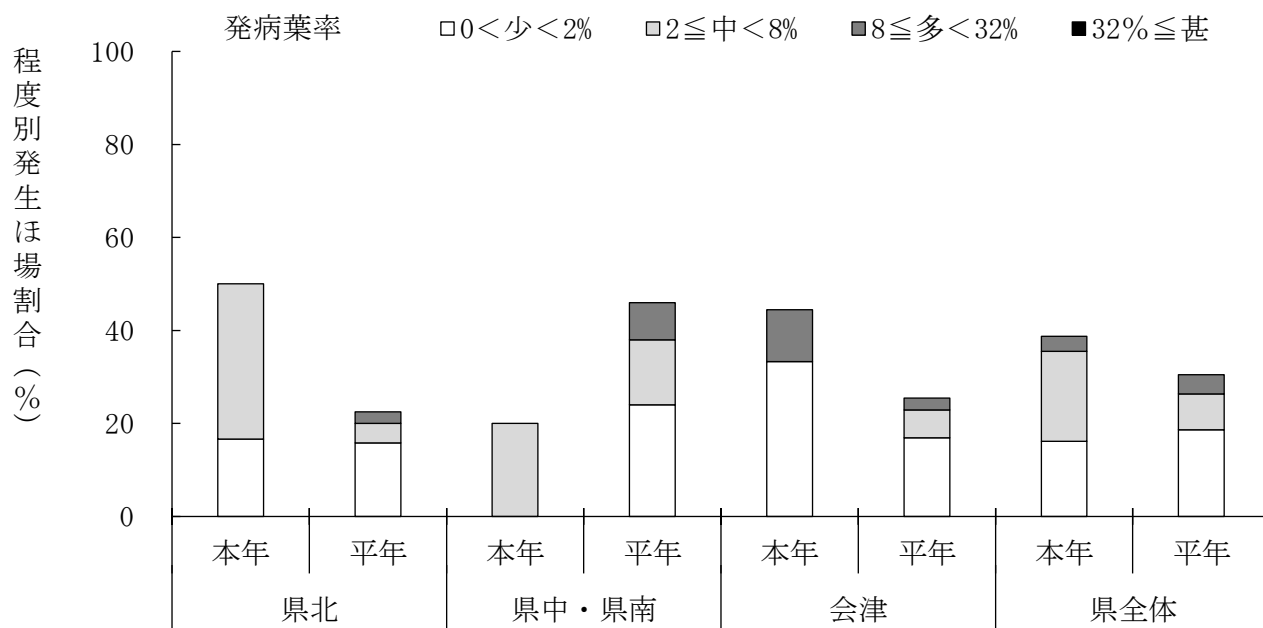


図2 褐斑病の発生状況

(3) 輪紋病

果実での発生ほ場割合は、平年よりやや高いものの、発病程度は平年並でした（図3）。

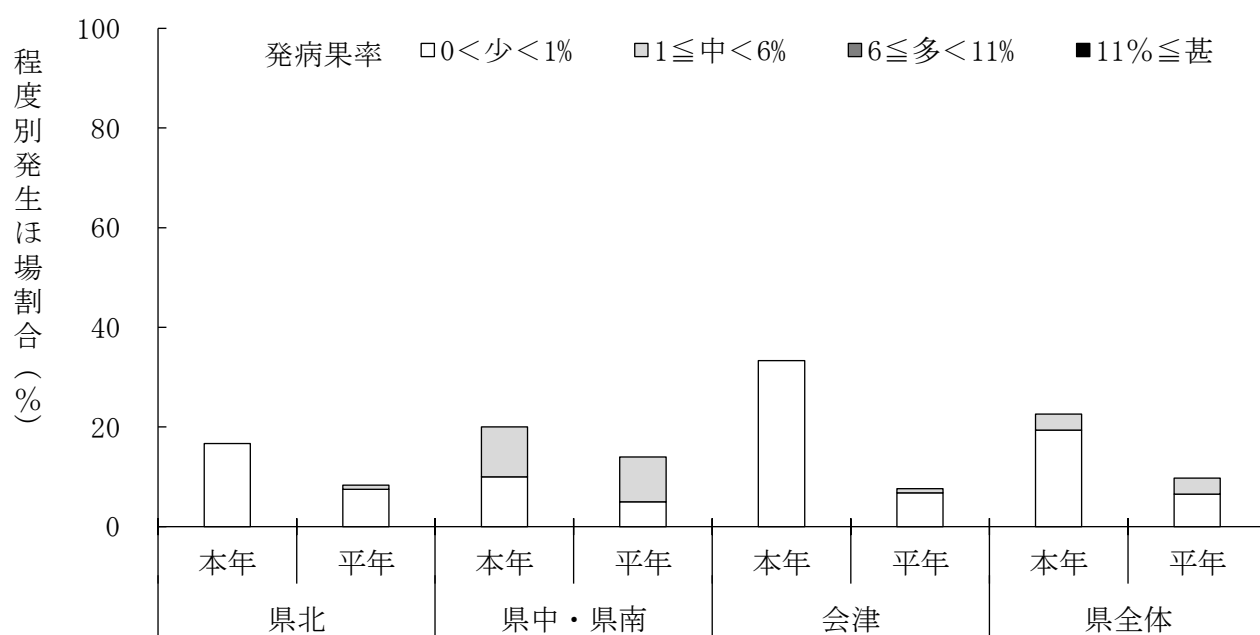


図3 輪紋病の発生状況

(4) 炭疽病

果実被害は確認されず、発生ほ場割合は平年並でした。

(5) すず点・すず班病

すず点病の果実での発生ほ場割合は、県北地方では平年より高い状況でした。県中・県南、会津地方では平年並でした（図4）。

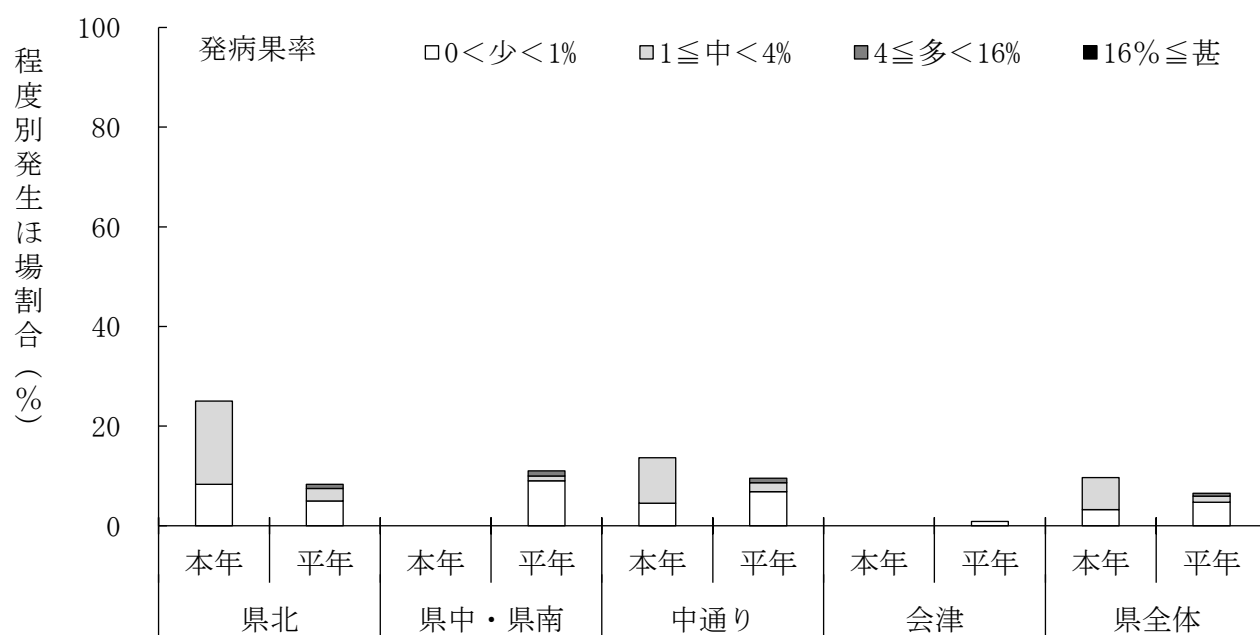


図4 すず点病の発生状況

すす班病の果実での発生ほ場割合は、県北地方では平年よりやや高い状況でした。県中・県南、会津地方では平年並でした（図5）。

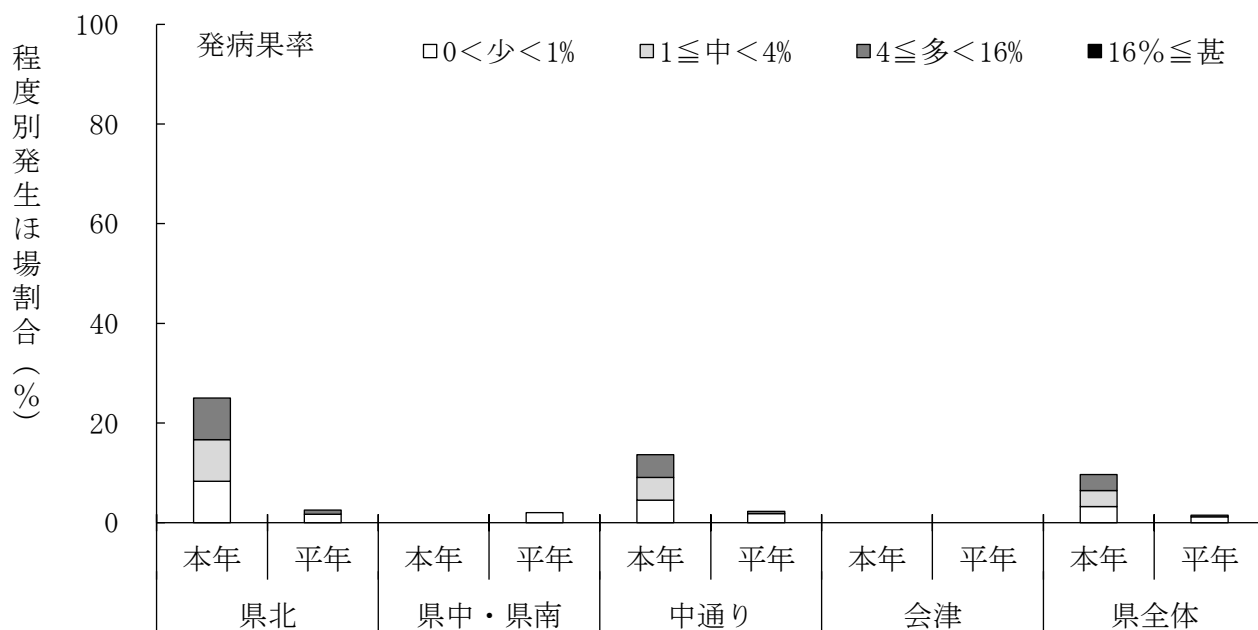


図5 すず班病の発生状況

(6) ハマキムシ類

新梢葉及び果実被害は確認されず、発生ほ場割合は平年並でした。

(7) ハダニ類

新梢葉での寄生ほ場割合は、県北地方では平年並でした。県中・県南ではやや高い状況でした。会津地方では平年よりやや低い状況でした（図6）。

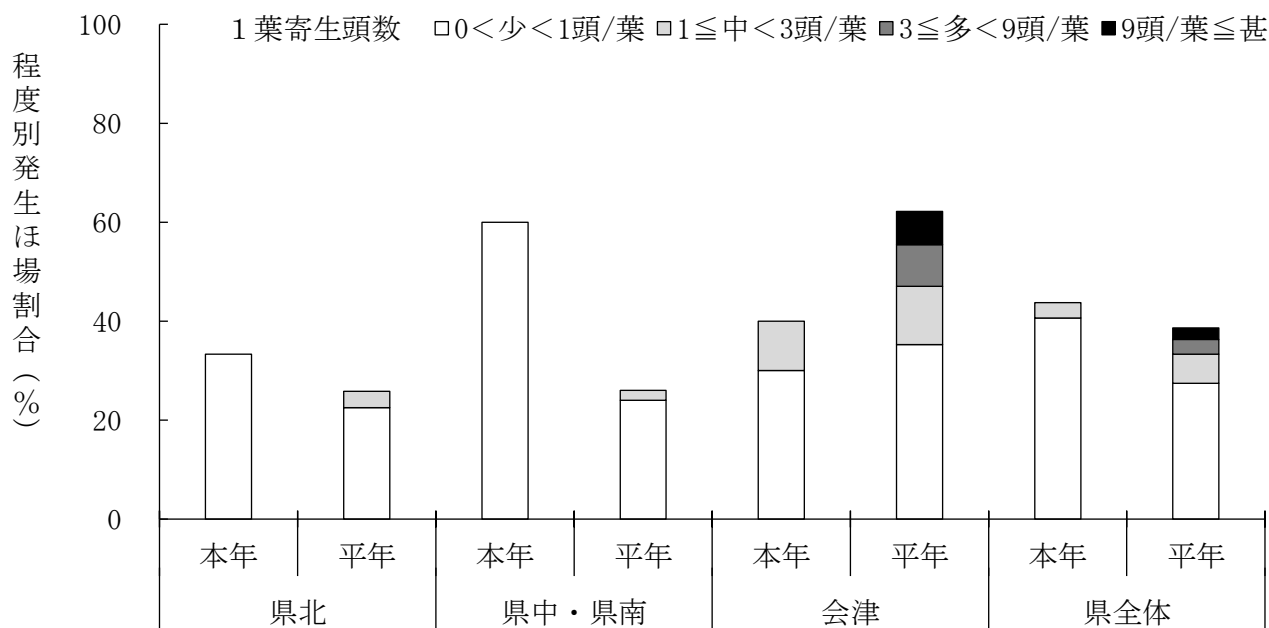


図6 ハダニ類の発生状況

(8) カメムシ類

果実被害の発生ほ場割合は、県北、会津地方で平年並でした。県中・県南において平年よりやや高い状況でした（図7）。

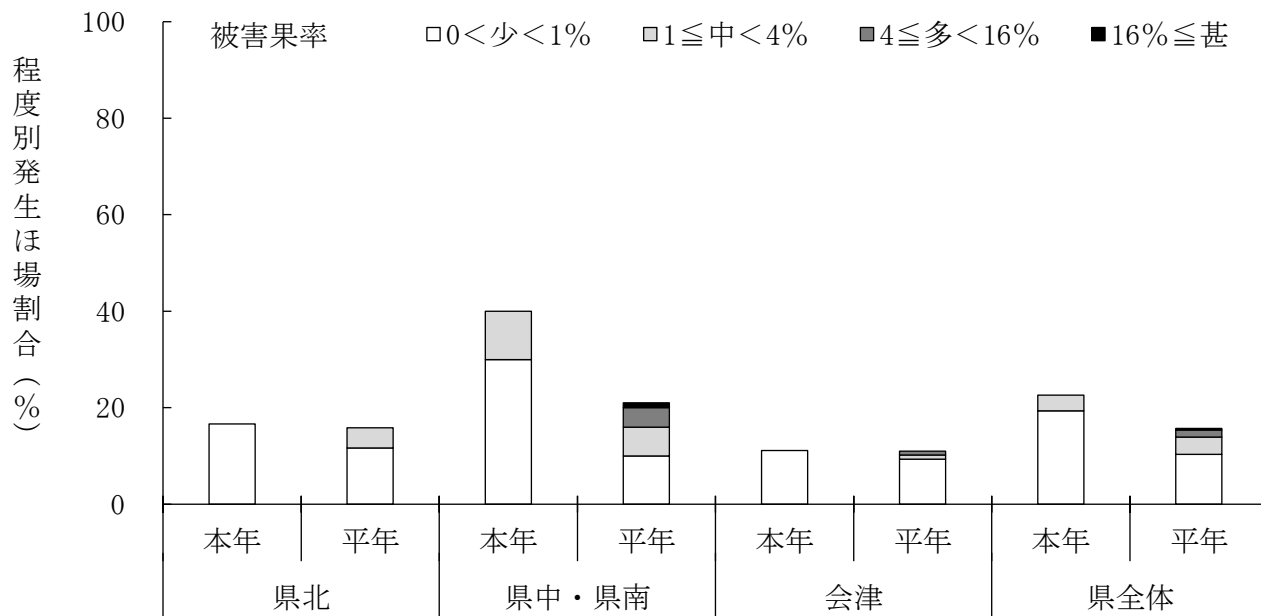


図7 カメムシ類による果実被害の発生状況